

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 5月15日（木）

2 確認箇所

多核種除去設備等処理水希釈放出設備（ALPS処理水移送元タンク設備（J1タンクエリアE群））

K4タンクエリア（外堰拡張・嵩上工事箇所）（図1）

3 確認項目

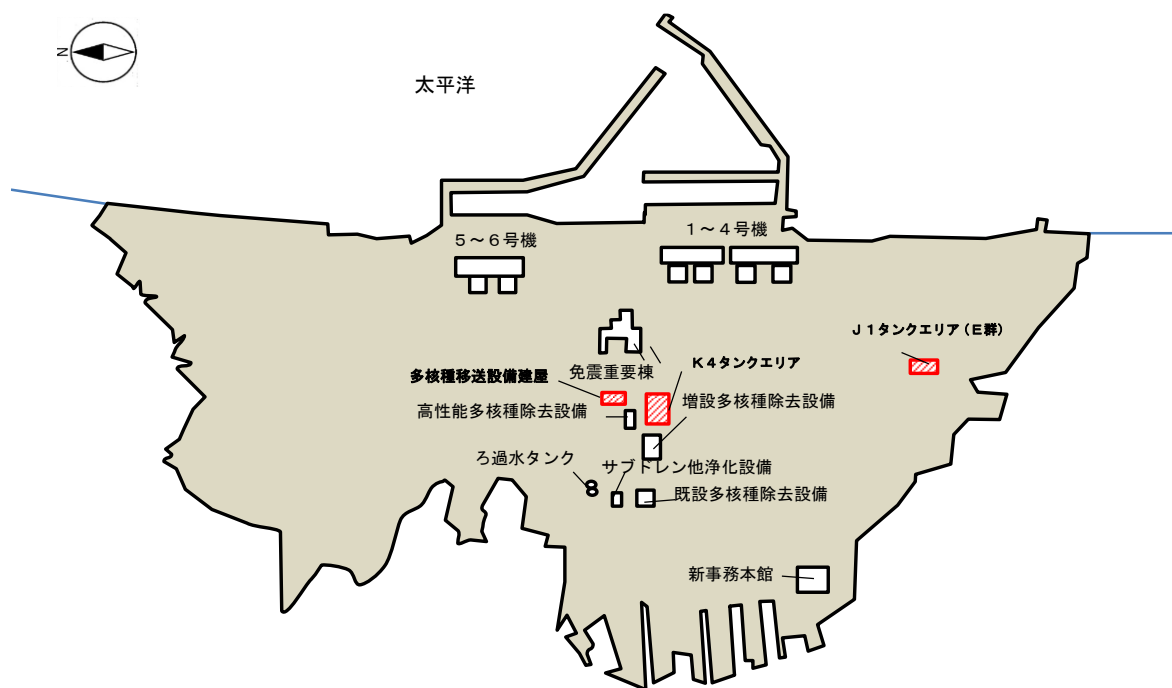
- （1）多核種除去設備等処理水移送作業の状況
- （2）K4タンクエリアにおける外堰拡張・嵩上工事の実施状況

4 確認結果の概要

- （1）多核種除去設備等処理水移送作業の状況

東京電力では、多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の本年度2回目（総回数13回目）の放出に向けて、J1タンクエリアE群及びK3タンクエリアA/B群のタンクに貯留しているALPS処理水を測定・確認用タンクC群に移送することとしている。確認日時時点で、既にこれらタンクエリアから測定・確認用タンクC群への移送が行われていることから、その状況確認を行った。（前回確認日：令和6年3月6日）

- ・ J1タンクエリアE群のタンク内堰内に新設移送設備として払出ポンプが設置され、当該ポンプの圧送によりJ1－E6タンクの払出し弁から移送が行われていた。（写真1）
- ・ 移送に使用されているホース類については、漏水防止用の養生カバー（青）で覆われており、K4タンク群への移送ホースの要所には、漏水検知器が設置されていた。（写真2）
- ・ 移送先であるK4タンクエリア内の測定・確認用タンクC群に移送水が導水される前段階において、移送水をさらに浄化する設備（高性能フィルタ）が設置されていた。（写真3）
- ・ 今回の移送に係る移送経路における目視確認の範囲では、機器類の破損や配管からの移送水漏えいなどの異常は認められなかった。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1)
J1－E6タンク払出し弁からの
移送実施状況①



(写真 1－2)
J1－E6タンク払出し弁からの
移送実施状況②
(払出し弁から移送ポンプへ)



(写真 1－3)
J 1－E 6 タンク 払出し 弁からの
移送実施状況③
(J 1－E 群タンク内堰内に新設
された移送ポンプ)



(写真 2－1)
移送ルート の 状況①
(移送ホースに養生カバーを設置)



(写真 2－2)
移送ルート の 状況②
(移送ルート 要所 には、漏水検知器
を設置)



(写真 3)
移送先 K 4 タンク エリア の 状況
(測定・確認用タンク C 群への
導水前に高性能フィルタを設置)

(2) K 4 タンク エリア における 外堰 拡張・嵩上げ 工事 の 実施 状況

A L P S 処理水の測定・確認用設備からの漏えい等の異常発生に備えた対策として行われているK 4 タンク エリア 外堰 拡張 工事 及び 外堰 嵩上げ 工事※の進捗状況を確認した。(前回確認日：令和 7 年 2 月 1 0 日)

- ・外堰拡張工事が進められているK4タンクエリア南側と東側において、新設の外堰を構築するための配筋工事が行われていた。また、コンクリート打設に向け、底部の準備工事が行われていた。（写真4）
- ・K4タンクエリア南側と東側の既存外堰の嵩上げ工事はほぼ完了し、今後進められる予定の東側及び北側の嵩上げ工事に向け、準備工事（既存雨除けシートの撤去）が行われていた。（写真5）
- ・現場に設置されていたクレーン、溶接機本体に日常点検結果表が掲示されており、点検が日々実施されていることを確認した。また、確認した範囲では、油漏れなどの異常は見られなかった。
- ・現場は整理整頓が行き届いており、資機材はシートとネットで適切に養生されていた。確認した範囲では、資機材の散逸は見られなかった。

※外堰拡張工事及び外堰嵩上げ工事：地震等により、タンクとタンクを繋ぐ連結弁が破損してALPS処理水が大量に漏えいした場合に備え、堰の貯留可能量を増大させるための工事。ALPS処理水希釈放出設備設置に係る事前了解に際して福島県原子力発電所安全確保技術検討会がとりまとめた8つの要求事項を受けて、東京電力が追加の安全対策として進めている。



（写真4）
K4タンクエリア南西部の拡張外堰
におけるコンクリート打設工事の状
況



（写真5）
K4タンクエリア北東部の既存外堰
の嵩上げ工事に向けた準備状況
（雨除け用の天蓋を撤去済み）

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。